

音楽

重点目標

○ 表現の技能を身につけ、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、豊かな情操を養う。

解説

○ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方考え方を育成し、音楽や音楽文化に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

3つの観点について

① 知識・技能	
解説	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 既習曲の曲想・音楽の構造・背景など、音楽活動を行うために必要な知識など、理解している。 ◇ 音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現活動を行うことができる。
評価の内容方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作曲者や曲の構造、背景などについての理解は定期考査で評価します。 ・ 楽語など音楽記号や表現を工夫するための知識・理解は定期考査で評価します。音楽を表現するための基礎になる技能は実技テストを実施し評価します。
② 思考・判断・表現	
解説	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 音楽の諸要素同士の関連に気づき、曲の中でどのような効果や特徴を作り出しているかを感じ取り、よさや美しさを味わいながら音楽活動に取り組むことができる。 ◇ 創意工夫を生かした表現活動をおこなうことができる。
評価の内容方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中に行う、ワークシートの内容から感受を見取ります。 ・ 実際の音楽を聴き取る「聴取の能力」は、授業への取組で評価します。 ・ 単元のまとめとして定期考査で評価することもあります。 ・ 創意工夫を生かした表現の技能は、実技テストなどを実施し評価します。
③ 主体的に学習に取り組む態度	
解説	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 音楽活動に主体的に取り組み、自身の学習状況を把握し、試行錯誤しながら、仲間と学びを深めたり、自らの音楽活動に生かすことができる。 ◇ 主体的な音楽活動を行うために、課題に粘り強く取り組むことができる。
評価の内容方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への参加の様子や授業での取組について振り返るためのワークシートや、提出物の状況などから客観的に評価します。 ・ 表現活動や授業への取組も評価します。 ・ 主体的に取り組んだ内容の成果を、定期考査で評価することもあります。